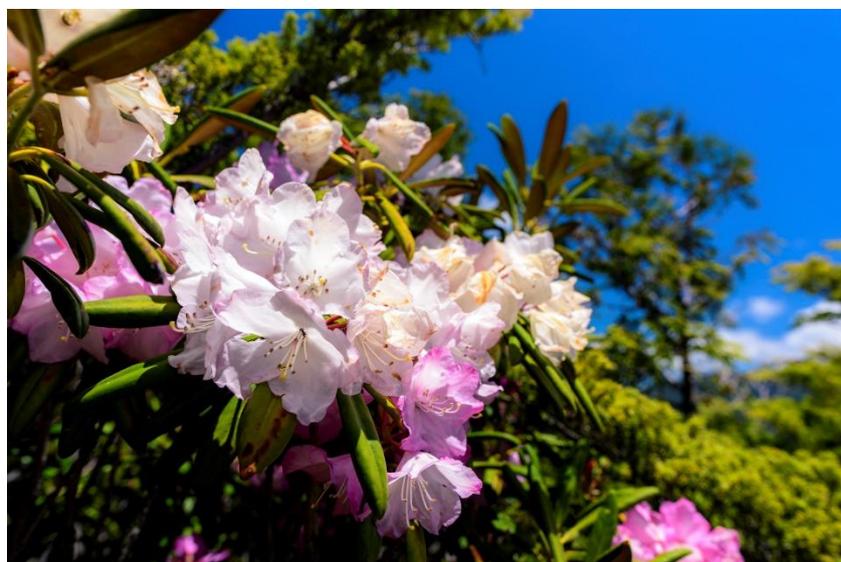


2019 年度版



エコアクション21 環境活動レポート

次世代に残る！地球と会社を目指します！



対象期間：2019年6月01日～2020年5月31日



〒664-0012 兵庫県伊丹市緑ヶ丘1丁目324番地

庄野電気工事株式会社

TEL 072-782-1375 FAX 072-770-4409

URL <http://www.shonodenki.com>

E-MAIL info@shonodenki.com

発行年月日：2020年7月22日

目次

①	環境方針	1
②	組織の概要	2
③	環境負荷の実績と環境目標	3-4
④	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	5-6
⑤	来期環境活動計画	7
⑥	定期会議	8
⑦	環境関連法規制等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無	9
⑧	代表者による全体評価と見直しの結果	10
⑨	年間計画スケジュール(PDCA)	11

環境方針

制定日：2009年12月01日

改定日：2011年07月27日

〔基本理念〕

当社は「信用を重んじる」をモットーに、お客様第一の電気設備工事を創造する会社として、常に環境への配慮を考えた事業、活動を展開する。次世代に残るより良い地球環境の創造を目指します。

〔行動指針〕

1. 環境経営システムを構築し次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。
 - ① 省エネ（電気）省資源（化石燃料）推進によるCO2削減
 - ② 廃棄物分別の徹底と再生利用の向上・施工方法改善による発生量・排出量の削減
 - ③ 用水使用量の削減
 - ④ 事務用品及び工事資材のグリーン購入の推進
 - ⑤ 環境にやさしい施工の推進、環境配慮型製品の販売促進
2. 環境保全に関わる法令・規則・条例等を遵守します。
3. 環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。
4. この環境方針を全従業員に周知させます。

代表取締役社長



組織の概要

●事業所名及び代表者名

庄野電気工事株式会社

代表取締役社長 庄野 隆二



●所在地

〒664-0012

兵庫県伊丹市緑ヶ丘1丁目324番地 【対象事業所】

●環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 庄野 隆二

環境管理担当者 井月 大輔

T E L : 072-782-1375

●事業内容

電気設備・電気通信設備・消防設備・太陽光発電設備の工事

●活動範囲（対象範囲）

電気設備・電気通信設備・消防設備・太陽光発電設備の工事

●対象事業所

本社

●事業の規模

活動規模	単位	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	百万円	795	850	828
従業員	人	18	18	18
床面積	m ²	351.42	351.42	351.42

2019年度：2019年6月～2020年5月

環境負荷等の実績と環境目標

表 1. 環境目標設定書

環境目標

	単位	基準値	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	44,093	43,872	43,653	43,434
電力使用量	kWh	19,594	19,496	19,399	19,302
電気使用量(二酸化炭素排出量)	kg-CO2	8,190	6,512	6,479	6,447
ガソリン使用量	ℓ	14,766	14,692	14,619	14,545
ガソリン使用量(二酸化炭素排出量)	kg-CO2	34,282	34,110	34,883	34,708
軽油使用量	ℓ	587	584	581	578
軽油使用量(二酸化炭素排出量)	kg-CO2	1,541	1,533	1,525	1,518
産業廃棄物排出量	t	31.82	31.66	31.50	31.34
一般廃棄物排出量	t	0.77	0.76	0.76	0.75
総排水量	m ³	90	89.55	89.10	88.65
グリーン購入	%	9	9.5	10	10.5
環境配慮した設計と 施工及び設備の提案の促進	件	36	37	38	39

基準年は 2018 年

グリーン購入・環境配慮した設計と施工及び設備の提案の促進に関しては平成 24 年度より実施。

※二酸化炭素排出係数 (0.334kgCO2/kWh : 2018 年度関西電力調整後の値)

基準値は 2018 年度実績を使用した為、0.418kgCO2/kWh(2017 年度関西電力調整後の値)を使用
2019 年度以降の目標は 0.334kgCO2/kWh(2018 年度関西電力調整後の値)を使用

※環境目標は前年の数値を参照するため、次年度の数値のみ記載

基準年度(2018 年度)*99.5%として算出

(環境配慮した設計と施工及び設備の提案の促進については前年+1 とする)

表 2. 主な環境負荷等の実績

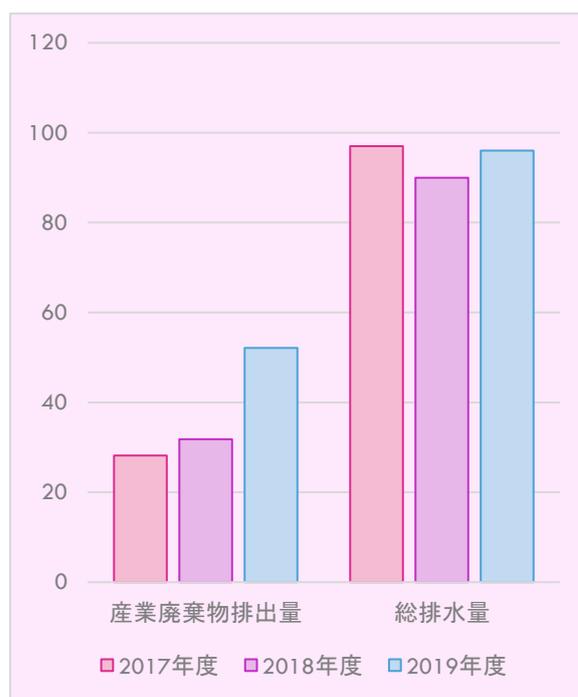
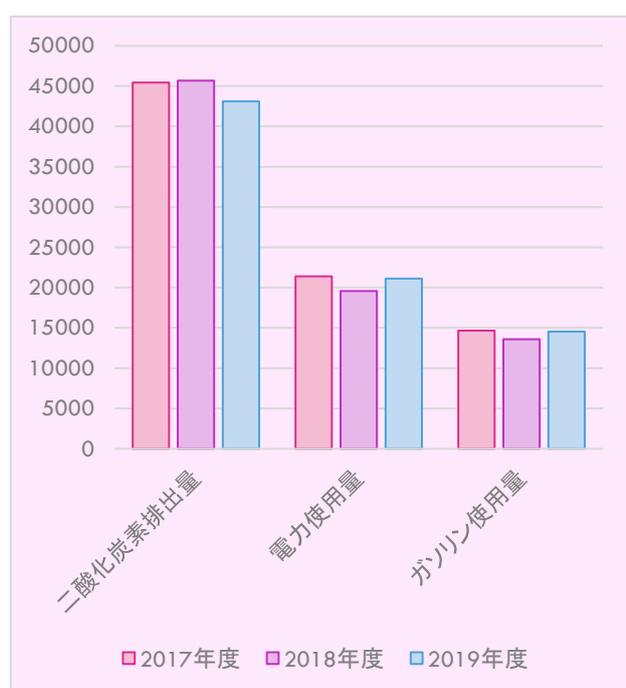
項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	45,445	44,093	43,104
電力使用量	kWh	21,388	19,594	21,122
電気使用量(二酸化炭素排出量)	kg-CO2	10,702	8,190	7,055
ガソリン使用量	ℓ	13,822	14,766	14,554
ガソリン使用量(二酸化炭素排出量)	kg-CO2	32,849	34,282	33,791
軽油使用量	ℓ	511	587	828
軽油使用量(二酸化炭素排出量)	kg-CO2	1,342	1,541	2,174
総排水量	m ³	97	90	96
産業廃棄物排出量	t	28.15	31.82	52.13
		金属くずプラス 35.45	金属くずプラス 17.85	金属くずプラス 28.27
一般廃棄物排出量	t	-	0.77	1.07
グリーン購入	%		9	11
環境配慮した設計と 施工及び設備の提案の促進	件	31	36	37

※二酸化炭素排出係数

2017年度係数：0.522kgCO2/kWh

2018年度係数：0.418kgCO2/kWh(2017年度関西電力調整後の値)

2019年度係数：0.334kgCO2/kWh(2018年度関西電力調整後の値)



実績値グラフ

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

電力による二酸化炭素排出量の削減

今年度取組結果	評価	次年度取組
週に一度のノー残業デーの徹底 エアコンの温度を一定にする	× 未達成	残業時間の削減 不要照明の消灯
	目標//実績	
	6,512//7,055 (kgCO2)	

自動車燃料(ガソリン・軽油)による二酸化炭素排出量の削減

今年度取組結果	評価	次年度取組
車内の整理整頓 現場までの最短距離の工夫 エコドライブ 10 の勧めの周知徹底 協力会社への周知徹底	× 未達成	加速・減速の少ない運転 ムダなアイドリングを減らす
	目標//実績	
	35,643//35,965 (kgCO2)	

産業廃棄物の削減

今年度取組結果	評価	次年度取組
金属廃棄物の分別の徹底	× 未達成	金属廃棄物の分別の徹底
	目標//実績	
	31.66//52.13 (t)	

水道水の削減

今年度取組結果	評価	次年度取組
意識向上のポスター掲示	× 未達成	小まめに蛇口を閉める
	目標//実績	
	89.55//96.0 (m)	

グリーン購入

今年度取組結果	評価	次年度取組
エコマーク認定商品の購入	○達成	グリーン購入比率向上
	目標//実績	
	購入率 9.5%//11%	

環境配慮した提案

今年度取組結果	評価	次年度取組
グリーンカーテン LED 提案による節電	○達成	グリーンカーテン エコシルフィの提案
	目標//実績	
	37//37 (件)	

建設副産物のリサイクル率向上

今年度取組結果	評価	次年度取組
分別の徹底	×未達成	分別の徹底
	目標//実績	
	56.5//54.2 (%)	

環境活動の取組結果



※○は目標達成、×は目標未達成

工事現場が下請け工事もあるため、弊社ではその環境負荷を目標管理できず、元請けのマネジメントシステムの管理下で活動していること、また、残りの自社施工分については電気、水は客先支給であるため、化石燃料と廃棄物については本社分を合算して環境目標設定しているため、工事現場の目標設定と活動計画の策定は行っていない。

二酸化炭素排出量・自動車燃料の削減について、コロナの影響で現場が中断するなどした月があったことで、第4四半期は使用量などが昨年より減少している。また、電気・水道使用量も同様に、手洗いなどを意識をしていることで使用量が増加していることも付け加えておきたい。新しい生活様式が求められる中、次年度も増加することが予想されるが、できるだけ節水を心掛けつつ、清潔に保つことができるよう細かな節約を意識し目標達成に向け動いていく。金属くずのリサイクル・産業廃棄物の量が達成できなかった理由としては、大きな現場が昨年度に比べ多かったことが大きな要因としてあげられる。削減する意識は根付いているため、このまま継続していく。

※毎月の全体会議にて各車の燃費の発表、評価を実施して社員の意識向上にもつながっている。

<p>カラーホルダーHV ①</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量⇒300.94ℓ 走行距離⇒4,806km 燃費 平均 15.97 	<p>カラーホルダーHV ②</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量⇒630.07ℓ 走行距離⇒11,138km 燃費 平均 17.68 	<p>ハイゼット</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量⇒1,392ℓ 走行距離⇒14,659km 燃費 平均 10.53 	<p>ハイゼット</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量⇒2,246.05ℓ 走行距離⇒21,650km 燃費 平均9.64 	<p>ハイゼット</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量⇒1,191.18ℓ 走行距離⇒8,660km 燃費 平均7.27 	<p>ハイゼット</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量⇒774.81ℓ 走行距離⇒5,907km 燃費 平均7.62 	<p>ハイゼット</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量⇒1,421.46ℓ 走行距離⇒12,834km 燃費 平均 9.03 	<p>ハイゼット</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量⇒822.0ℓ 走行距離⇒8,646km 燃費 平均 10.52
<p>プリウス</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量 1,141.88ℓ 走行距離 ⇒19,138km 燃費 平均 16.76 	<p>ミラ</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量 654.0ℓ 走行距離 7,799km 燃費 平均 14.81 	<p>ミラ</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間ガソリン使用量 ⇒130.71ℓ 走行距離 ⇒2,260km 燃費 平均 17.29 					

定期会議

第1回	2019年6月14日	先月の光熱費の報告 2019年度環境目標・活動計画の説明 ☆雨の日の事故を防ごう
第2回	2019年7月18日	先月の光熱費の報告 ☆水分補給
第3回	2019年8月9日	先月の光熱費の報告 ☆眠気を解消する方法
第4回	2019年9月17日	先月の光熱費の報告 ☆秋の全国交通安全運動
第5回	2019年10月11日	先月の光熱費の報告 ☆食事の仕方
第6回	2019年11月15日	先月の光熱費の報告 ☆免疫力を高める方法
第7回	2019年12月13日	先月の光熱費の報告 ☆道路交通法改正について
第8回	2020年1月17日	先月の光熱費の報告 ☆防災について
第9回	2020年2月12日	先月の光熱費の報告 ☆ヒートショック
第10回	2020年3月12日	先月の光熱費の報告 ☆春の交通安全運動
第11回	2020年4月10日	先月の光熱費の報告 ☆デスクをきれいに
第12回	2020年5月8日	先月の光熱費の報告 ☆生体リズム

上記のとおり毎月第2週目(主に金曜日)の18時より「EA21 定期会議」を実施しています。
光熱費の報告・エコについて・環境についてなどの話し合い、社員間の意見交換の場として
有意義な時間が作れるようになりました。

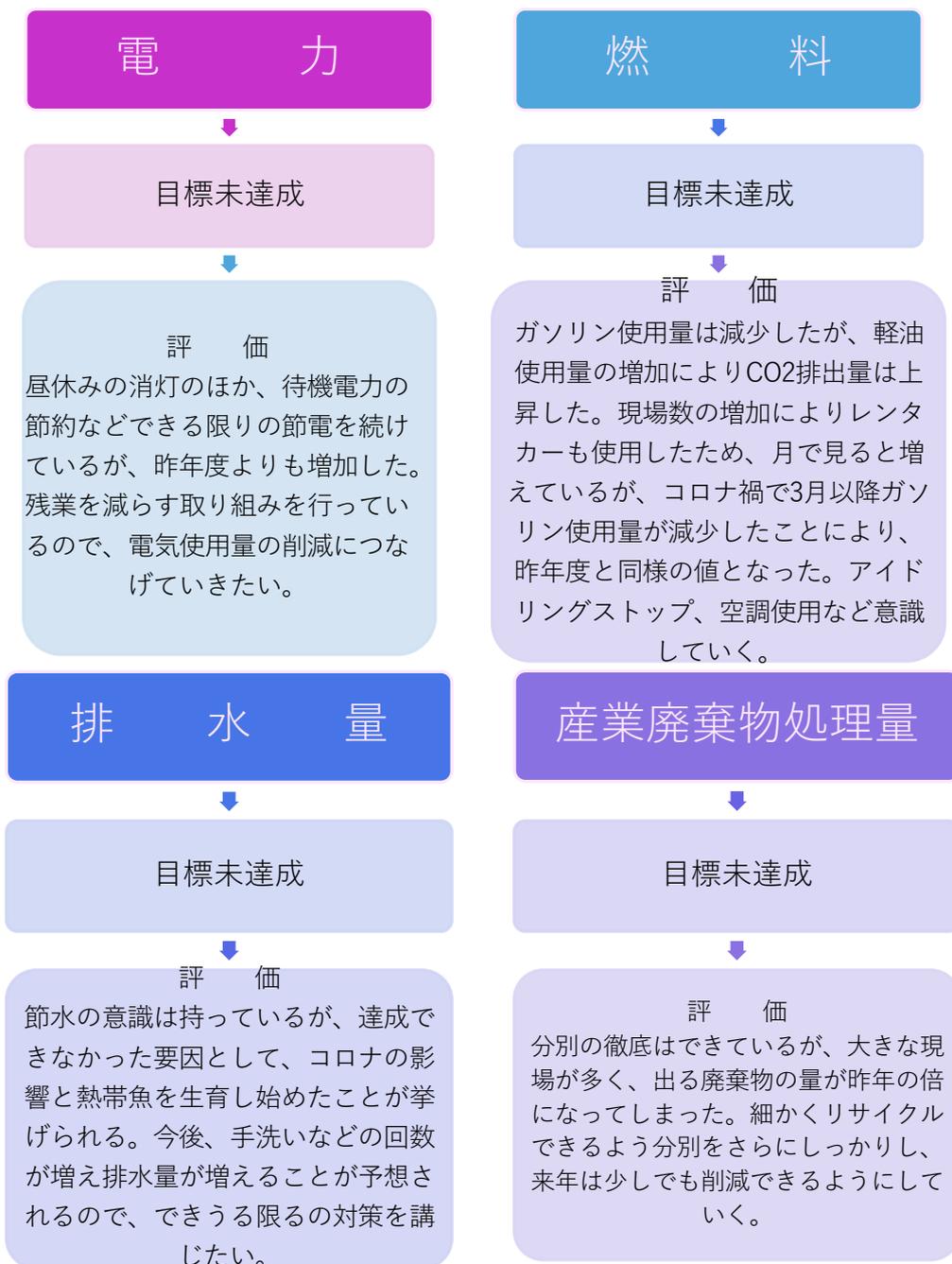
環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は、次のとおりです。

適用される法規制等	適用を受ける内容	遵守評価
廃棄物処理法	廃棄物収集・運搬事業者及び廃棄物処理業者との委託契約 マニフェスト伝票の5年間保管 毎年6月30日までに産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出 廃棄物置き場 看板の設置	○
騒音規制法	特定建設作業開始の7日前までに市長への届出	○
振動規制法	特定建設作業開始の7日前までに市長への届出	○
自動車排出NO _x ・PM法	事業活動に伴う自動車排出窒素酸化物等の排出抑制のために必要な措置を講ずるように努める。	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの廃棄・修理・整備時、フロン回収業者への引き渡し義務 4半期に1回自社点検の義務・記録の保管	○
消防法	危険物保管の指定数量1/5以上の届出	○
下水道法	公共下水道管理者にあらかじめ届出	○

環境法規制等の順守状況に関する定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
過去3年間、関係機関等から環境関連法規制について指導、指摘等はありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果



見直し

第4四半期に起こったコロナの影響が少なからずあるように思います。それを除いても増加傾向にあるのは、主に大型現場が昨年度と比べて多くあったことです。削減できる大部分は実行しており、削減に対しての意識は全員共通するところです。ただ、見落としている部分などないか、常に意識をもって達成できるよう、来年度は徹底して行動して参ります。

2020年7月1日

庄野電気工事株式会社
代表取締役 庄野 隆二

年間計画スケジュール (PDCA)



所在地



阪急「伊丹」駅より
伊丹市バス
49番・50番・
「緑ヶ丘小学校前」下車徒歩3分

発行日

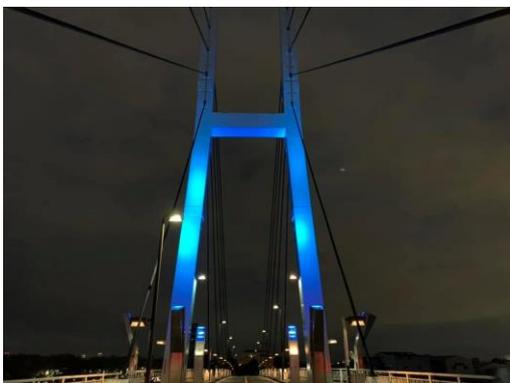
環境活動レポート	VOL. 1	2010年3月6日
環境活動レポート	VOL. 2	2010年5月31日
環境活動レポート	VOL. 3	2011年7月27日
環境活動レポート	VOL. 4	2012年7月31日
環境活動レポート	VOL. 5	2013年7月31日
環境活動レポート	VOL. 6	2014年7月31日
環境活動レポート	VOL. 7	2015年7月31日
環境活動レポート	VOL. 8	2016年7月31日
環境活動レポート	VOL. 9	2017年8月31日
環境活動レポート	Vol. 10	2018年10月31日
環境活動レポート	Vol. 11	2019年7月31日
環境活動レポート	Vol. 12	2020年7月31日

環境活動



エコキャップ

地域貢献



地域貢献

地域貢献



環境活動



産業廃棄物の削減啓発

産業廃棄物の削減啓発



環境に配慮した提案



グリーンカーテン

